

切る、削る、磨く ものづくりへの情熱が生んだ 世界最高峰のケイヒンブランド

京浜工業所

京浜工業所（品川区東大井、内田由美子社長、03・3761・2131）は、昭和16年の創立以来、切る、削る、磨く工程における限らない可能性を追求し、すぐれた製品を提供することにより、「お客様、社会、地球を輝かせ、社員も生き生き輝く企業」をモットーに、最高の製品づくりをめざし日々奮闘している。

国内で初めて軸付砥石の製造に成功した同社は、研削砥石、ダイヤモンド工具を「ケイヒントイシ」「ケイヒンダイヤ」のブランドで、自動車メーカーをはじめあらゆる産業分野の企業に直販している。

同社の特長は、開発、製造、営業の連携および高精度かつ高効率の生産が可能なシステム構築などの体制整備のもと行われる世界最高レベルの製品づくりに向けた技術開発であり、近年はダイヤモンド工具による微細加工に力を入れている。今回、任意曲線刃先形状の



内田副社長と佐藤工場長（右）



同社のダイヤモンド・CBNホーニング砥石で表面加工を行った製品の数々



単結晶ダイヤモンドバイト

極微細総型ダイヤモンドの
開発に成功した。微細形状を精度150nmに仕上げたこの超精密バイトは、世界一の水準を誇る。今後、省エネディスプレイにおける微細な凸凹形状をもたせたフィルム加工など、多様なものづくり分野での活用が期待できる。

平成26年3月経済産業省より「がんばる中小企業・小規模事業者300社」に選定されたことをはじめとするさまざまな受賞歴が、同社の技術力に対する高評価の証だ。「これからも新しいことに挑戦し、日本のものづくりの発展に尽力したい」と、内田社長は無限の可能性を追求し続ける同社の姿勢を熱く語ってくれた。